



第4回
**地域を
語る会
報告誌**



開かれた議会を目指して!
平成23年9月27日~11月30日





鷹栖町議会では、

開かれた議会を目指して、議員が直接地域に伺い、議会活動に対する意見・提言等をお聴きする「議会報告会」を平成20年度から開催してきました。今年度は町民の皆さまとの対話をより重視し、名称を「地域を語ろう会」と改め、9月27日から11月30日にかけて5地区・2団体で開催いたしました。

会には延べ109名の皆さまの参加があり、議会および行政に対して、貴重なご意見やまちづくりに対する質問・提言を多数いただきました。議会に対するご意見は会場でお答えをしましたが、行政に対する質問等は議会で取りまとめ、町長に提出し回答を得ました。

本誌では、議会に関するものと、行政に関するもの(各所管課)に分類してお知らせいたします。



語る会

問 地域を語ろう会の目的が見えてこない。語り合うためには司会者の役割が重要ではないか。

— 議員と町民が気軽に語り合える場にしたい。進行方法は再考する。

問 過去3回の議会報告会の反省点を踏まえ、今後、どのように進めるのか。

— 議会が町民の方々と懇談する機会が必要であり、議会活動の一部に位置づけたい。今後の開催方法は再度協議していく。

問 地域を語ろう会の開催を、北海道新聞のお知らせの欄を使うなどして、もっとPRすべき。

— 来年度に向け、道新の「まち」行事に掲載するなどPRに努める。

議会全般

問 北海道の原発について、北海道全体で賛否をとる方法はないのか。議会はどう考えているのか。

— 原発の対応について、当議会としても議論していく。「原子力発電からの脱却と自然エネルギー」への転換を求める意見書」を提出している。

問 TPPの問題について、議会としてはどのように考え、対応しているのか。

— TPP(環太平洋経済連携協定)は、情報開示をしっかりととして議論すべきである。当議会では、農林水産業をはじめ関連産業を含めて地域経済が崩壊する恐れがあるので、反対の意見書を提出している。

問 「チームあつたかす」で被災地の子どもたちを受け入れたことを、議会はどのように受け取っているのか。

— 町民・行政・議会の役割には違いがあるが、できることをみんなが考え行動した結果であり素晴らしい成果だと思う。

問 地域を語ろう会に参加して、この場ですくには意見が出にくい。議員への意見要望を常時受けつける仕組みを考へてはどうか。

— 「みんなの議会」には、常時意見を受け付けることを掲載している。ご指摘のようにさらに方法を検討する。

問 平日は勤務のために議会傍聴ができない。休日開催はできないのか。

— 今後、開催に向けて検討する。さらに画像配信などの方法も検討していきたい。

問 視察研修の内容を知りたい。

— 研修内容は、「みんなの議会」に掲載している。

① 大空町議会・議会広報は。

— 道町村議会広報コンクールで入選実績。議論や活動の動きを伝えることを編集方針とし、ホームページでも情報公開に努めている。

② 本別町・認知症対策は。

— 町内会単位で認知症の方を見守る活動をしている。鷹栖町は、福祉課が中心となり民生委員保健推進委員の皆さまに協力をいただいている。

③ 上富良野町・保健指導は。

— 受診率が非常に高く、早期発見・早期予防に取り組み、保健指導が優れている。

④ 高知県馬路村・特産品は。

— 農協が中心になり、特産品のゆずを原料に加工・製造販売、6次産業化に成功した例である。

問 栗山町議会の視察で、参考になった点は。

— 議会基本条例、議会報告会などをはじめ、行動することが参考になった。

問 国会議員の定数削減の意見書を、町議会で提出する考えはないか。

— 全議員で協議する。

問 議員報酬について、他町村との比較を教えてください。

— 鷹栖町は165,000円、上川管内平均は163,500円。費用弁償は平成17年に廃止。

問 政務調査費を設けて、しっかりと議員活動をすべき。

— 調査費や研修費は、年度当初の予算には計上していない。視察目的などの計画を立てた時点で補正予算で対応している。

問 農業振興公社のことは、全議員でしっかり議論すべき。住民にはその議論の内容が分からない。

— 全議員でしっかりと議論する。また、住民への広報活動についてはさらに検討する。

行政全般

【総務企画課】

問 町広報誌について、金銭的なことはあると思うが、表紙へくらはいは目につきやすいカラー印刷にしてほしい。

— 表紙は、新年号と話題（北野神社獅子舞、パレットヒルズの桜）に応じカラー印刷を行っている。今後もカラーがふさわしい話題のときは、予算の範囲内で検討する。

問 柏の里体育館が古くなっており、台風のときなどは、すがもりする

るので整備してほしい。

— 現状を確認し対応を検討する。

問 ロッキールンドの今後について、憩いの場であり復活してほしいと思うが、今後のあり方は。また、ログハウスの売却や土地はどのようになっているのか。

— ロッキールンドの廃止に伴い、土地をさら地にして返還することが求められており、ログハウス等は解体・撤去することになっている。

問 9月の大雨の被害箇所と対応は。

— 土木被害は80カ所発生し、うち47カ所は職員により対応した。工事が必要な箇所は河川で13カ所、道路で20カ所の合計33カ所あり、応急対応も行ったが、一部は平成24年度以降に対応する。



9月の大雨被害箇所(15線19号)

【総務企画課(企画部門)】

問 北海道には自然エネルギーがあるのもっと活用できないのか。

— 新エネルギーの賦存量調査結果(平成22年度)をもとに、太陽光など自然エネルギー活用の可能性があるか、今後検討する。

問 警察団地跡地はどのようなになっているのか。本町の定住対策になる方向で考えてほしい。

— 若年者や子育て世代の定住促進・高齢者の安心を確保する公営住宅や民間アパート等を考えている。また、地域・住民の皆さまの意見を参考に利用方法を検討する。

問 パレットヒルズのパークゴルフ場のシーズン券を発行してはどうか。

— パークゴルフ場は試験的な利用と位置づけ、3年間(平成22年~24年)の委託契約を結び管理運営している。シーズン券の発行は、要望があることを管理団体へ伝える。

問 協働のまちづくり推進事業は今年で終わるのか。福祉の町といふこともあり継続してほしい。

— 協働のまちづくり推進事業の継続は、原則3年間を設定している。今後も福祉分野で継続する必要がある場合は、福祉課に相談願います。

問 北斗小学校跡地はいつまで放置しておくのか。1日も早く利用方向を決めてほしい。

—過去の経過をもとに、今年度、鷹栖共生会へ跡地利用の意思を確認させていただいた。その後、地元と利用計画の打合せや説明会を開催しており、具体的な内容は、まちづくり懇談会でお伝えした。



北斗小学校跡地

問 町内の空き地や空き家の情報を被災地等に発信し、無駄にならないような情報体制を取ってほしい。

—公営住宅の情報は、被災者向けのHPにて情報発信しており、個人住宅の情報提供は、現在2件ある。空き家バンクの制度はあるが、現在、登録はない。今後は、広報などを通じて改めて周知する。

問 町民球場横の土の堆積場は、今後どうするのか。

—第7次鷹栖町総合振興計画後期(平成27年～31年)で具体的な利用方法を検討する。

【町民税務課】

問 土地の所有者が分からない雑草地にゴミが捨てられているが、町で処理することはできないのか。

—町では、不在地主に不法投棄の状況を伝え改善を促すが、処理は所有者・管理者の責任での対応となる。

問 空き家になったところに雑草が生え、環境が悪くなっている。有効な対策が取れないのか。

—私有地に関しては、所有者・管理者の責任での対応となるが、現在の状況を伝え改善を促す。

問 ゴミ収集車のバイオディーゼルの使用はどのようになっているか。もつとPRしたらよいのではないか。

—ごみ収集車2台で、年間約4、300ℓ使用している。今後もPRの方法を検討する。

問 町営バスの停留所は、お年寄りには遠い。停留場の見直しを考えてほしい。

—停留場の見直しについては、利用者や地域と協議し対応する。

問 北斗市街の古タイヤ堆積場付近で、体の不調を訴えている方がいる。なんとかならないか。

—現地で本人・事業所との対応をしている。随時状況を確認し、騒音などに配慮した現場作業を要請している。

問 旧北斗小学校近くの信号機が移設されているが、移設説明が地区にはなかったのではないか。

—平成18年に、地元町内会(36区)と協議して移設したが、地区全体には説明していない。

問 バス待合所が冬になると、雪が吹き込み使えなくなる。なんとかしてほしい。

—今回は、地域農業推進会議北成支部の環境整備事業として整備していただいた。

【福祉課】

問 北野西町内には高齢者が160人いる。サポートするには地域の力が必要というが、何ができるか示してほしい。

—社会福祉協議会・福祉委員・老人会・民生委員などの協力で自宅訪問を実施しているが、今以上に地域で取り組める方法を検討する。

問 障がい者交通費の助成対象を、バス代とタクシー代に限定せず、ガンリン代も含めた選択制にしてほしい。

—人工透析患者は定期的な通院が必要のため、給油券での助成も対象にしている。障がい者は、バス代とタクシー代の助成による経済的負担の軽減を図っている。

【生涯元氣課】

問 自殺者やうつ病の人を救っていき働きかけはできないか。

—身近な仲間同士で声かけ・誘い合いを進めていくことが大切。悩みで苦しむ人の話をよく聴くことや、町民の方々が参加できる相談支援の研修を検討している。

問 特定健診を受けたが、2次検診は書類や町担当者から電話での案内があった。自宅訪問するなどの努力が必要ではないか。

—平成20年度から医療制度が変わり、特定健診結果は、直接医療機関から連絡が届くようにしている。特定健診後の特定保健指導の対象者には電話で勧奨し、必要に応じ訪問対応している。特定保健指導に該当しない方でも、事後相談を希望の方には、随時個別に対応している。

【産業振興課】

問大雨被害を少なくするために、水田ダム方式があるとのことだが、町の取り組みはないのか。
— 農家や土地改良区の協力が前提になるため、関係機関と連携し研究していく。



くくり農講習会

問エゾシカが非常に多い。駆除についてどうしているか。
— 猟友会に駆除を委託している。また、くくり農による捕獲に取り組んでおり、一定の効果があった。

問エゾシカ対策で、くくり農以外に鹿が近づかない方法はないのか。
— 防護柵等を設置する方法もあるが、経費面を考慮しながら有効な方法を検討する。

問アライグマを捕獲後、処理に経費が掛かるので放しているという聞いたが本当か。
— アライグマは特定外来種に指定されており、捕獲後は殺処分している。

問町内で熊の被害はないのか。狩猟免許取得の状況は。
— 足跡や糞が発見されているが、被害は発生していない。免許取得・登録等の経費を補助する内容で3名分の予算を組んでいる。

問農産加工施設・四季の里が使いづらくなっている。
— 人事異動による引継ぎ方法を反省して、利用者に不便が生じないように努めていく。

問春だけ用排水整備を行っているが、落ち葉がひどいので年2回行っている。
— 農業関連事業により、推進会議各支部の共同取組として実施しており、地域と十分相談のうえ進めたい。

問農業後継者対策を。複合経営への支援を。
— 農業後継者を含めた就農支援としては、農業振興公社や地域農業推進会議(中山間事業)との連携を取りながら実施していく。

問新規就農者への支援を。農地と宅地の情報を一体化すべきでは。
— 町のマスタープランの策定が必要になり、農地利用調整協議会を中心に、地域の皆さんとの協議を進めていく。

問トマト接木苗の助成金が、非農家が対象ではないのはなぜか。
— 補助事業の対象者は、原料トマトの出荷を目的として作付けを行う町内原料トマト生産者である。非農家であっても、場合によっては対象となることもあるので相談いただきたい。

【農業委員会】

問町外農地所有者への栽培管理指導について、また地元農事組合に農地売買情報を伝える仕組みができないか。
— 農地の保有者には、適切に管理をする責務と、耕作者には地域との調和要件があるので指導していく。農事組合への農地売買情報については現在手法を検討中である。

問農地売買単価情報はあるのか。
— 農業委員会全員で現地評価を行い、基準単価を定めているが、公開はしていない。あっせんが成立した後、告示を行うので、閲覧して判断してください。

【建設水道課】

問13線から中央墓地に向かったの9号道路は未舗装だが、舗装工事の順番はどのようになっているのか。
— 地区のバランスもとりながら、地元の要望のある箇所について実施している。9号道路も要望がある路線なので、舗装に向けた取り組みを計画する。

問昨年新しく舗装をした道路に除雪グレーダーのつめ跡が付いている。舗装を傷めない除雪ができないか。
— 舗装が傷まないよう十分注意し作業を行いたい。

問メロディー橋の補修を早急に。
— 橋の長寿命化事業として、国の交付金で実施したいと考えている。



メロディー橋

問 13号道路(16～19線間)の工事内容を伺いたい。

—交通量が増えていることから、部分的な舗装の打替えとともに、もう一層分の舗装をかけて強化し、既存の幅員で整備を行うものである。

問 9月の大雨の影響で、知遠別から北斗にかけての河川に被害が出ている。

—現地を一部確認。対応可能な箇所は、随時実施したい。

問 北成川が3年前に崩れ、1回目は手直ししてくれたが、2回目は見には来てくれたが何もしてくれない。

—現地の確認は随時行っており、現状より崩壊が進むようであれば対策を講じたい。

問 北成地区の23～24線間の街灯を、23線16号の浜田さんの所に移してほしい。

—11月下旬に工事を終了した。

問 北成地区は河川が多く、開発・土現・町のそれぞれの管轄もあり、なかなか手を掛けてくれない。災害時には、職員も現場を確認しているのか。

—特にイブンベウシ川については、道へ改修要望を出している。事業着手には至っていないが、対策は必要と判断している。

問 犬ぞり体験をしているが、冬期間道路が狭いので、体験に来る大型バスを停める駐車場を確保できないか。

—希望している土地は民有地であり、対応不可である。

【教育課】

問 町所有の施設は、町外利用者と差をつけた利用になっているのか。

—丸山パークゴルフ場はシーズン券で差をつけ、町外の人は購入できない設定である。その他施設も町内在住者が優先的に利用できるようにしている。

問 北野地区住民センターの改修計画について、アンケートは全戸配布しては。また、障がい者などが利用しやすい施設にしてほしい。

—アンケートは全戸配布していないが、実施することを新聞折込で周知した。改修内容は長寿命化対策、バリアフリー化を中心に考えている。アンケートで要望の多かった部分は検討していきたい。

問 北斗地区住民センターの、傷んでいる箇所の状態を調査し対応してほしい。

—調査のうえ、緊急度の高いところから修繕を進めている。要望等については、運営委員会やまちづくり懇談会等で聞き取りしていきたい。

問 北成写真交流館は、今後どのような形で活用していくのか。地元の見解を聞いてほしい。

—地域づくり委員会や文化協会などと協議していきたい。

【農業振興公社】

問 「オオカミの桃」の原料買入単価が上がったが、製造本数増に効果はあったのか。生産量を増やすため、原料買入単価をもっと上げるべきでは。

—買入単価は120円から150円に上がったが、面積で約40a減っている。製造量は天候に恵まれ約36万本で、昨年より5万本ほど増産している。今後増産につながるような単価設定を続けていきたい。

問 内部留保はどの程度あるのか。品種試験や収穫時期の試験はしているのか。

—約3億4千万円ある。試験等については、現時点では実施していない。

問 家庭菜園での原料トマト生産も補助金の対象とすべきでは。苗ではなく原料に補助しては。「オオカミの桃」の製造量が減少しているのに、人件費は減っていない。改善する考えは。

—取締役会で検討して頂く。



原料トマト

問 原料トマトの農家戸数が減少しているので、高齢者事業団などの手を借りて公社直営農場で生産できないのか。

—直営農場で20a作付けしている。コスト面を含め収益が上がらないが、これ以上、作付面積の減少が進んだときは、直営農場の面積を拡大し、高齢者事業団などの手を借りるのも一策だと思う。

地域を語ろう会出席者数

会場	開催日	出席者数
北野ボランティア有志の会	9/27(火)	6
北野地区住民センター	10/ 8(土)	20
中央地区住民センター	10/11(火)	12
北斗地区住民センター	10/13(木)	17
鷹栖地区住民センター	10/14(金)	17
北成地区住民センター	10/18(火)	28
輝き#サポート隊	11/30(水)	9
	合計	109

みなさまの声

《出席者アンケートより》

内容・テーマをしぼる方法もあるでしょうが、むしろ一人ひとりが自由に発言できる進め方がありがたい。

ある程度テーマを絞り深めていく中で、課題整理ができると良いと思う。

テーマなしの話し合いでは、議論が深まらないのでは。

もっと若い人に呼びかけてください。

情報を(議会・委員会)知る機会として、よい場と思う。

行政に対する要望なのか、議会に対する要望なのか、参加する者は整理して質問すべきと思うが、町民にとっての要望事項は行政・議会の区別はないということかもしれません。

町内会・地域で「こんな事ができる」「既にこんな取り組みをしている所がある」という例を、視察等で得られた情報で良いので教えて欲しい。

議員さんは町全体のことを考えてほしい。

鷹栖町・地域を語ろう会

みなさまの声・アンケート集計



鷹栖町

Search



お礼のご挨拶

鷹栖町議会では、議会改革・議会活性化の一環として、「議会報告会」を開催していましたが、今年度は、より皆さまと対話・語り合う機会とするべく、名称を「地域を語ろう会」と変更し開催をさせていただきました。町民の皆さまにはご多忙にもかかわらず、多数のご参加を賜り、心よりお礼申し上げます。

さらには、皆さまから貴重なご意見・提言・地域の現状と課題をお聞かせいただき、誠にありがとうございました。議会として、将来のまちづくりに向けて議論を行うために役立ててまいります。

また、当日各会場で実施したアンケートにおいても、議会および行政に対して貴重なご意見・提言を多数いただき、皆さまのご協力で深く感謝いたします。

今回の開催では、議会の広聴・広報活動を改善し、町民の皆さまにより分かりやすくお伝えする必要性を強く感じました。

今後も、議会の機能向上・情報公開をはじめ、より開かれた信頼される議会を目指して、議会改革と活性化に取り組んでまいりますので、皆さまのご指導ご鞭撻をお願い申し上げます、お礼のごあいさつといたします。

鷹栖町議会議長 青野 敏